禁無断複写・無断転載

第193回　全経簿記検定試験　上級　－原価計算－　模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題１　〔丸数字は予想配点、合計 52 点〕

問１

① ❺　変動製造マージン

② ❺　貢献利益

問２

損益分岐点売上高　❻　3,985,000　千円

安全余裕率　❻　14.85　%

問３

経営レバレッジ係数　❻　6.73

問４

営業利益増加額　❻　100,563　千円

計算過程：6.73×298,850 千円×５%≒100,563 千円

問５

東大塚電工の安全性は［❷ 改善した ・ 悪化した ・ 不変である ］。（該当するものを〇で囲むこと）

その理由：　安全余裕率が 14.85%から 18.66%へ増加したため。❻

問６

経常利益段階での損益分岐点を算定する場合，営業外損益は固定費の修正項目として取り扱う。❺

その理由：　営業外損益は営業量の増減とは無関係に発生するため。❺

禁無断複写・無断転載

問題２　〔丸数字は予想配点、合計 48 点〕

問１

（単位：円）

第１年度	第２年度	第３年度	第４年度	第５年度
❺△47,100,000	**❺16,200,000**	**❺14,240,000**	**❺13,610,000**	**❺15,720,000**

※別解：16,900,000

問２

［ **❺　５** ］　年度目で回収することができる。

問３

投下資本利益率法が［ **7.45** ］%なので，この投資案は［ **採用すべきである** ・ 採用すべきでない ］。（該当する方に〇をつけること）　**完答で❺点**

問４

正味現在価値（ＮＰＶ）が［ **△840,639** ］円なので，この投資案は［ 採用すべきである ・ **採用すべきでない** ］。（該当する方に〇をつけること）　**完答で❺点**

問５

相互排他的投資案を選択する場合，正味現在価値法と内部利益率法では，一般的に企業価値の最大化の観点から，利益額が最大となることが重要であるため，正味現在価値法の方が優れているといえる。❽